

2016年9月  
No.16-103a(山)※5

## 麻疹検査に関するお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先般、麻疹流行に伴う測定試薬の供給不足による麻疹《HI》の報告遅延の可能性につきましてご案内(Information No.16-102a(山)※1)いたしましたが、この度、麻疹ウイルス《NT》につきましても同様に報告遅延や一時受託中止が予想される事態となりましたので、取り急ぎご案内いたします。

先生方には多大なご不便をお掛けすると存じますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目

頁	項目コード	検査項目名	備考
69	2665	麻疹《HI》(血清)	Information No.16-102a(山)※1 にてご案内済み
69	2666	麻疹《HI》(髄液)	Information No.16-102a(山)※1 にてご案内済み
69	2715	麻疹ウイルス《NT》(血清)	
69	2716	麻疹ウイルス《NT》(髄液)	

#### ■代替項目

頁	項目コード	検査項目名
69	2825	麻疹 IgM《EIA》
69	2822	麻疹 IgG《EIA》

※代替検査として、上記項目をご案内させていただきます。

なお、国立感染症研究所感染疫学センターから出されている『医療機関での麻疹対応ガイドライン(第六版:暫定改訂版)』では、麻疹に対する免疫の有無を確認するための抗体価測定方法として、EIA法が推奨されています。また、赤血球凝集抑制法(HI法)は、EIA法より感度が低く、免疫の有無を検査する目的には推奨できないと記載されています。

以上